

1. 件名：第31回研究報告会

2. 日時：令和3年10月14日（木） 16時～17時40分

3. 場所：WebEx会議

4. 出席者

○原子力規制委員会

更田委員長、田中委員、山中委員、伴委員、石渡委員

○原子力規制庁

櫻田原子力規制技監、森下審議官、小野審議官、
佐藤技術基盤グループ長（核物質・放射線総括審議官）、
遠山技術基盤課長、萩沼企画官（技術基盤課）、
平野技術参与（技術基盤課）、
田口安全技術管理官（システム安全担当）、
舟山安全技術管理官（シビアアクシデント担当）、
迎安全技術管理官（核燃料廃棄物担当）、
川内安全技術管理官（地震・津波担当）、
杉野首席技術研究調査官（地震・津波研究部門）
市川技術研究調査官（シビアアクシデント研究部門）
道口主任技術研究調査官（地震・津波研究部門）

5. 要旨

原子力規制庁長官官房技術基盤グループが実施している安全研究プロジェクトのうち、「空間放射線量率基準に基づく避難モデル検討—避難のタイミングによる被ばく線量への影響評価—」「プレート間地震津波の特性化波源モデルの改良—地殻変動の水平変位が津波初期水位に与える影響に係る実験及び解析の比較検討—」について、配布資料に基づき原子力規制庁から報告を行った。

6. 配布資料

資料1 空間放射線量率基準に基づく避難モデル検討—避難のタイミングによる被ばく線量への影響評価—

資料2 プレート間地震津波の特性化波源モデルの改良—地殻変動の水平変位が津波初期水位に与える影響に係る実験及び解析の比較検討—